

第1問で学習した「～兵衛」「～左衛門」「～右衛門」は解読できたでしょうか。また、タイトルの「五月朔日」と「長五郎」で数字の「五」が出てきましたが、こちらも第1問で登場しましたね。

さて今回のポイントは、まず図1「甚右衛門（じんえもん）」の「甚」です。この「甚」は、「甚敷（はなはだしく）」「甚以（はなはだもって）」など、人名以外でも文書の中でよく見られますので、ぜひ覚えておいてください。



図1

図2

次に図2「与兵衛（よへえ）」の「与」です。異体字として「與」があり、どちらもよく使われます。ちなみに「与頭（くみがしら）」「五人与（ごにんぐみ）」のように「くみ」と読む場合もあります。また、「A与B」のように使われた場合は、並立を表す助詞「と」と読みます。

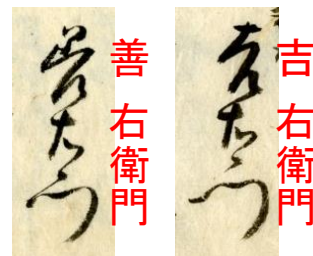


図3

図4

図3と図4は全体的な形がよく似ていますね。図3「善右衛門（ぜんえもん）」の「善」と図4「吉右衛門（きちえもん）」の「吉」は下の部分の同じ形をしていることに注目してください。この部分が「口」となります。あとは上の部分が「羊」のようになっていれば「善」、「土」のようになっていれば「吉」と判断しましょう。

この「善」と「吉」や、第1問で扱った「左」と「右」のように、形がよく似ている字はセットで覚えておくと記憶に残りやすいと思いますので、ぜひ参考になさってください。